

第5次総合計画前期実施計画における取組の改善に向けた対応状況について(令和4年度事業の効果検証)

資料1

事業No	事業名	担当課	意見	対応状況・回答
第1章-5	骨髄移植等を原因とする予防接種再接種費助成事業	母子保健課	事業としては意味のある内容だと思うが、予防接種という観点から他に優先すべきことはなかったのでしょうか。	定期予防接種は予防接種により国民全体の免疫水準を維持することが目的とされています。骨髄移植等により獲得した免疫が失われた場合に再度免疫を獲得することは本人のみならず社会全体の利益となるため、重要な事業であると考えています。
第1章-7	放課後子ども教室推進事業	子育て支援課	安全管理員の確保に向けてとあるが、周知だけではなく、資格取得のための講習会等を開催することは行わないのでしょうか。	放課後子ども教室の安全管理員には、必要な資格はございません。令和6年度から運営管理を業務委託し、内容の充実と実施校の拡大に努めてまいります。
第1章-11	高齢者外出支援事業	長寿支援課	○高齢者外出支援タクシー券について 介護保険要支援1・2又は要介護1・2の認定を受けた人が対象だが、運転免許証を自主返納した方すべてに申請後配布とできないでしょうか。 ○<グリーンスローモビリティ>の地域限定運用を!! 環境への負荷が少なく狭い路地も運航可能、例えば阿蘇地区、睦地区、大和田、高津ローズタウンとか、高齢者の足の移動手段として。ブロックブロックで。 酒々井町：「しすいふれ愛タクシー」自宅～目的地～自宅 乗合タクシー片道1人300円	運転免許証を自主返納した高齢者に対するタクシー券の交付に関しては、すでに実施しております。 高齢者外出支援タクシー券につきましては、より良い制度にするために現在制度見直しの検討を行っております。 グリーンスローモビリティに関しては、高齢者の移動手段の一つとして研究してまいりますと考えております。
第1章-11	高齢者外出支援事業	長寿支援課	検証にあるように、一体化した方がいいのではないのでしょうか。	高齢者外出支援タクシー券につきましては、より良い制度にするために現在制度見直しの検討を行っております。
第1章-18	公的病院等救急医療事業補助事業	健康福祉課	地域によっては、平日における曜日の違いにより、救急医療体制が手薄になっている曜日があるといった状況が生じているように感じます。	令和6年4月から実施される医師の働き方改革により医師の時間外勤務に上限が設けられ、各医療機関は体制の維持に苦慮すると予想されるため、本市といたしましても関係機関の状況の把握に努めてまいりたいと考えます。
第2章-3	コンピュータ教育事業	教育センター	公立小学校の父兄授業参観に出かけると、児童がタブレット・教科書・ノートを使い、教員がディスプレイと黒板を併用し、それぞれの媒体にあった授業進行に児童たちが戸惑うことなく学んでいることに驚きました。メディアが増えたことにより、従来の1人掛けの机は狭いように感じました。	本市では、教室の面積に余裕のない学校が多く、現状のクラス編成及び各教室の児童生徒数を考慮すると机を大きくすることは難しく、また、その入れ替えに要する費用の確保など課題もあります。今後は、教科書のデジタル化など、国の動向に注視するとともに教育環境の改善に努めてまいります。
第3章-1	災害用物資備蓄事業	危機管理課	備蓄食料には飲料水も含まれていると思いますが、生活水についての確保も学校のプール等などの使用などと連携ができていけばいいのではないかと感じました。	八千代市地域防災計画では、発災時の被害状況により、関係各部・機関に協力を要請し、小学校、中学校、義務教育学校のプール、受水槽、会社・工場等が所有する井戸及びその他利用可能なものを補給給水水源として利用することとしています。

事業No	事業名	担当課	意見	対応状況・回答
第3章-13	防犯カメラ設置費補助事業	危機管理課	防犯カメラに関しては、補助より設置をお願いしたいです。保育園、小学校、市の施設の近所など。保育園にもお願いしましたが、伝えておりますとのこと返答はありません。自宅にはカメラをつけていますが、警察の方からも提供を求められたことがあります。カメラがついているところが少なくて、とのことでした。補助ではなかなか進みづらいのかもしれないです。	防犯カメラにつきましては、第4次総合計画後期基本計画においての設置は完了しております。市が設置した箇所は関係課、警察等と協議し駅前や幹線道路、交差点、通学路等に設置することとなり、自治会等が要望する箇所と一致していない場合が多く見受けられたことから、今後は第5次総合計画前期基本計画に基づき、自治会等が行う防犯カメラの設置に要する経費に対して、補助金を交付することにより、自主防犯活動を促進し、市民と行政が連携協力を図り、安心して安全な犯罪のないまちづくりを推進してまいります。
第4章-4	八千代台駅周辺活性化推進事業	まちづくり推進室	国が掲げている地域共生社会の実現に向けた取り組みには「住民に身近な圏域に誰もが気軽に「参加」「相談」できる場」、居場所づくりが掲げられています。具体的には地域福祉計画・地域福祉活動計画に明記され、現在では米本、大和田、村上に「ほっこり（地域名）」という名称で開設しています。居場所の運営は住民主体による運営を基本としており、場所の確保だけではなく、住民の意識の醸成が不可欠となります。そのような中、八千代台地区の4つの支会（住民同士の支え合いの会）では日頃から様々な形で住民同士による支え合いにより、地域生活課題が重症化する前に解決、あるいは関係機関へ繋ぐ活動を展開しており、より多くの課題解決のため居場所の確保を強く希望しています。ぜひとも、八千代台駅周辺活性化推進の検討の際には支会福祉委員の参画を希望します。	現在、活性化を推進する会議体などは設置されておりません。今後、会議体などが設置される場合には、内容に応じて参画を検討させていただきます。
第4章-8	空家等対策推進事業	建築指導課	前記（八千代台駅周辺活性化推進事業）の理由から、空家等の利活用のひとつの方策として検討できたいと思います。	当該地域の多くの空家は、昭和56年5月31日以前に建設された旧耐震で建設された耐震上問題がある建物が多くあり、現状での利活用はあまり望ましくはありません。しかしながら、本市空家等対策計画の中で、空家問題を地域の問題と捉えておりますので、自治会、関係団体等を通して空家に関する意識啓発を図ってまいりたいと考えております。 ご要望の趣旨とは少し異なりますが、空家の利活用の促進と地域の活性化を図るため、京成電鉄㈱と「空家対策事業実施に関する合意書」を締結し、空家の発生予防・抑制及び空家の利活用の促進等の取り組みを行っております。令和5年度から新たに空家の有効活用と地域活性化を図るため「空家コーディネート事業」を開始しており、京成本線沿線の空家の利活用の促進を図ることとしております。
第4章-14	バラ苗配布事業	公園緑地課	市の花「バラ」の啓発に、配布することに疑問です。新1年生が育てるには難しさもあるのではと思います。アンケートは誰にどのような内容でとっているのでしょうか。17%の認知は低く感じます。満足度が60%の理由はなんですか。配布よりも、学校にバラのコーナーを作るなど、目に触れる機会が多い方が啓発になるのではないのでしょうか。	アンケートは、小学校新入生の保護者を対象に行っており、内容としては、①「市の花がバラであることを知っているか。」、②「お子様の反応は。」、③「来年度以降の本事業について。」等となっております。 認知については、本事業で市の花がバラであることを知ったと答えたのが17%であり、知っていたと答えた方と合わせると93%となっております。また、満足度が60%の理由としては、「管理が難しい」「花に興味のない人もいる」「別事業に予算をかけてほしい」等の意見がありました。 学校対象におけるバラ事業としては、八千代市地域振興財団の緑化推進事業として、市立小中学校、義務教育学校及び市内私立中学校の32校の希望校へ、バラの購入助成券を提供しており、学校ごとにバラの植栽を実施しております。

事業No	事業名	担当課	意見	対応状況・回答
第4章-14	バラ苗配布事業	公園緑地課	指標（目標）を満足度（100%）に設定するのは無理があると思います。実施は難しいと思いますが、「バラの理解及び生育観察」を課題とし、小学生に取り組んでもらい、その後「バラについての理解度」を指標とした調査をすれば良いのではないのでしょうか。	指標については、見直しも含めた検討をしております。また、学校での生育観察等については、教育委員会等との調整が必要となることから、今後の課題と考えております。
計画の推進-1	市ホームページ改修事業	広報広聴課	ホームページに直接関係するわけではございませんが、透明性の高い市政の推進の一環として実施している事業ですので、令和3年3月内閣府 地方創生推進事務局による『地方創生推進交付金事業の効果検証に関する調査報告書』に、以下の記述がありますので、ご参照されるとよろしいかと思います。 「効果的な広報につながるような工夫 ➤ ベースラインとして、普段からの行政の広報紙や Web、SNS 等での情報発信は不可欠である（急に情報を発信しても、届かない）。一方で、普段からの現場との関わりの中で、世間話の中で事業の取り組みを話題にして、対面で直接知らせていく方が、住民間の口コミで情報が拡散し、はるかに効果的なところがある。その点からも、関係者が普段から住民との接点を積極的に持つとする意識づけが重要である。 ➤ 直接的に事業に関与する部局だけでなく、行政の全ての部局が関与することによって効果的な広報活動が可能になる。」	頂いたご意見は広報広聴課内で共有いたしました。ご意見を参考にしながら、市民への情報提供に努めてまいります。
計画の推進-3	地域コミュニティ推進講座開催事業	コミュニティ推進課	事業概要を拝見したところ、地域住民の方に講師になっていただけないかと思いました。効果検証のところに「説得力の面を考慮すると」との記載がありましたが、事業名からも地域住民でありながら、知識、教養等がある方を公募、あるいは市民活動団体等への働きかけ等により適切な方を発掘し、ご協力をいただくのはどうかと思いました。	経験・実績のある大学教授等の招聘を第一に考えております。しかしながら、今後も報償費の予算化が難しい場合は、その他手段を検討していく必要があると考えます。 また、今年度市民活動サポートセンターを福祉センター内にあったボランティアセンターと機能統合させ、ボランティア・市民活動推進センターを設置いたしました。この推進センターにおいても、今後推進講座を予定しておりますので、併せて進めてまいります。直近では、3月22日に人材発掘や育成をテーマとする市民活動団体向けの講座を開催予定です。
計画の推進-4	地域担当職員制度事業	コミュニティ推進課	○年間の実績で「講座の開催が出来なかった。」とあり、効果検証では「習志野市を訪問し説明を受けた」との記載になっています。説明を受けた時期が当年となっているので実績に付け加える必要があるのではないのでしょうか。（記載されている実績であると講座が開催できなかっただけの記載になってしまう） ○講座も大事だと思いますが、他の市町村の調査や事業の必要性を検証する事を先に行つては如何でしょうか。	ご意見を頂きまして、今後の調査等、年間実績に記載いたします。 また、他市の調査及び事業の必要性の検証は今後も継続して行つてまいります。
計画の推進-9	観光資源活用・情報発信事業	観光推進室	地域間連携推進事業のところでの質問にも関連しますが、八千代市観光協会をはじめ、外部団体との積極的な連携により更に活発な活動ができるように思いました。	10月に開催された産業まつり「八千代どーんと祭」において、「花の観光都市」ブースを設け、八千代市観光協会をはじめ、八千代緑と花の応援団、新川千本桜の会等の団体と、花の観光都市のアピールをいたしました。今後も積極的な連携を図つてまいります。

【その他意見】

項目	担当課	意見	対応状況・回答
第2章 豊かな心と文化を育むまちづくり	文化・スポーツ課	第2章第3節 市民文化について 令和4年度事業効果検証結果報告書（案）に記載が「0」（ゼロ）なのはいかなる理由でしょう。検討のしようがありません。	市民の文化振興については、指標として市民文化祭参加団体数や参加者・参観者数、文化施設利用人数などを掲げており、目標値に向けて単年度ごとに市民文化祭を始め、多彩な文化的行事の業務を行っています。
	文化・スポーツ課	市民文化振興事業 市民文化祭参加団体に「短歌」「川柳」とあるのに「俳句」が無いのは残念に思います。	俳句については、八千代市俳句連盟が過去には市民文化祭に参加いただいた時期もありました。市民文化祭の開催に当たりましては、4月に参加団体の募集等の情報発信を広報紙や市ホームページ等で行い、開催日程が決まり次第、ポスター掲示による周知などを行っています。
	文化・スポーツ課	文化施設運営管理事業 市民文化祭の市民美術展にかかわっています。担当は文化・スポーツ課です。実際事業を行うのは、参加市民と外部団体のオーエンスです。オーエンスからは美術展を行うにふさわしい美術担当の職員に加わってほしいです。文化・スポーツ課の担当職員も現場に足を運んで現状をしっかりと把握して指導力を発揮していただきたいです。	市民美術展については、市民ギャラリーの管理運営に当たり、「市民文化祭の一環として関係団体と協力の上、市民美術展を開催すること」を仕様書に明記し、指定管理者であるオーエンスが美術に関する専門職を雇用したうえで事務局となっています。今後も、市民の自主的な文化活動ができるよう、市民が作る市民のための美術展である市民美術展の開催に向けて支援を行ってまいります。
第4章 快適で環境にやさしいまちづくり	公園緑地課	ロードバイクに乗ってサイクリングロードを走っていると、八千代市に入った瞬間から、道路がポコポコになったり、草がぼーぼーになったりしています。他市との意識の違いを感じてしまいます。市民の健康や安全の為に補修をお願いしたいです。	ご意見の場所については、河川管理用通路であり、河川管理者(千葉県)の許可を得て新川遊歩道として市が管理をしており、舗装等傷んだ箇所については都度補修等の対応をしております。また、草刈りについても、年間業務回数を増やすなど検討しております。
計画の推進のために	観光推進室	観光の推進 交流人口の拡大という視点が欲しい。	定住人口の減少に向けた対策に併せて、交流人口の増加により地域経済の活性化を図ることを目的に、八千代市観光振興基本方針を定め、計画的な観光振興を推進するために「八千代市観光振興計画」を策定しましたことから、計画に基づき交流人口の拡大に努めてまいります。
	情報政策課	スマート自治体 自治体とともに利用者となる市民への支援、教育の視点を充実してほしい。	国が示した「特に国民の利便性向上に資する手続」とされている子育て関係・介護関係の26手続に加え、26手続以外の手続についても、26手続と同様、関係部署と協議調整等を進め、準備が整った手続から順次オンラインでの手続を開始し、市民の利便性向上を図ってまいりたいと考えています。 公共施設使用料、自転車駐車場（一時利用）及び放置自転車移動保管に係る手数料の支払いに、Pay Pay、LINE payによるキャッシュレス決済を導入し、令和5年7月から運用を開始しましたが、今後も、キャッシュレス決済が可能となる手続の拡充等に努め、市民の利便性向上を図ってまいりたいと考えています。 市の情報が必要な際に、速やかに当該情報へたどり着けるよう、AIを活用したチャットボットの導入等を行い、市民負担の軽減を図るとともに、スマホ教室等の開催についても、関係部署と協議調整のうえ、実施してまいりたいと考えています。